

湿地



雑木林



田畑や草原



里地・里山

照葉樹の杜叢林



かつて里山の森の利用は

燃 料 : 薪、炭、柴…
用 材 : スギ、ヒノキ、竹、ツル…
食 料 : 獣肉、キノコ、山菜、木の実…
医 薬 : 薬草
家畜の飼料、肥料など

しかし S40 年代以降は利用されなくなった
(府民の森は里山として利用されていた)

森は年月とともに変化する



明るい森

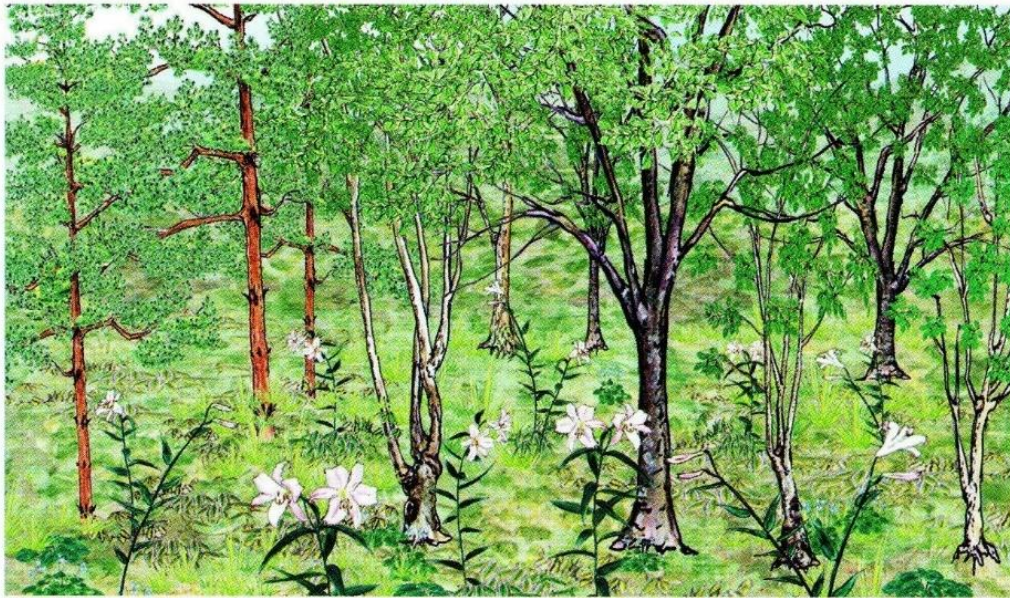
暗い森

里山(森)は人が手入れ(利用)して維持されてきた



暗い森は生き物の多様性が少ない

明るい森にすると



色々な生き物が 住む



昭和 30 代の交野山



写真:「枚方交野 100 年史!」から

植林作業(泉南市)



写真:大阪府「大阪の森を知ろう!」から

森(里山)は人が作ってきた

現在の森の様子と課題



ササの繁茂や常緑樹の台頭で暗くて繁雑な森になっている

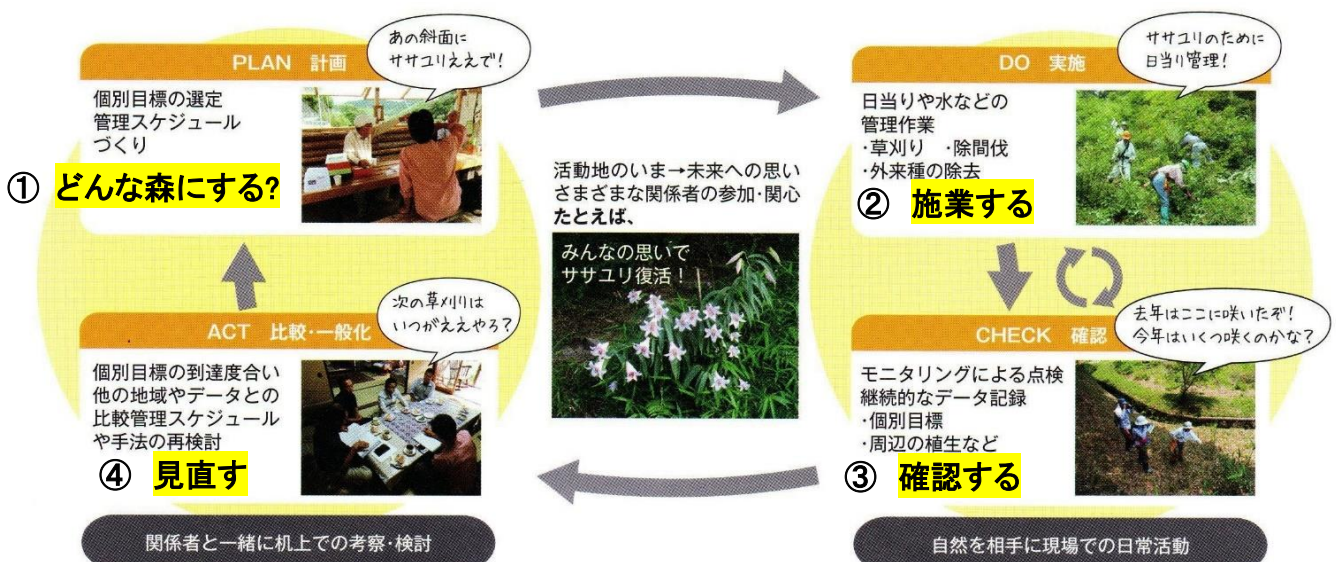


ナラ枯れ



竹林の侵食

森の利用をしなくなり手入れが必要になってきた



パークレンジャーの里山活動

明るい綺麗な森にして多様な生きものが住むようにする



雑木林の整備



ササ刈り



湿地の整備



伐採の講習



材の利用でシイタケホダ木作り

季節の草花



ショウジョウバカマ



コバノミツバツジ



ミズバショウ



ササユリ



カタクリ



シイタケ

活動すると

- 自然の中で仲間と活動する楽しさ
- 綺麗な森になるのを見る達成感
- 色々な生き物と出会い発見する喜び
- 少しいただける成果物(シイタケや山菜)

ボランティアは、

- *楽しいから続けられる
 - *やりがいや生きがいを感じる
 - *仕事を離れた自己実現の場
- その結果が社会に役立てば良い